

【KP向け】幻夢境キーパリングガイド

『ノエシスドリーム』の舞台である幻夢境は、現実とは異なる幻想的な世界です。
このガイドでは、キーパーが幻夢境の雰囲気プレイヤーに伝えるためのポイントをまとめています。

1. 幻夢境の特徴

夢と現実の境界が曖昧な世界

幻夢境は、夢の世界でありながら独自の法則と現実感を持っています。

- 時間の流れが一定ではない（一瞬で数日が過ぎたり、一日がとても長かったりします）
- 物理法則が緩やか（空を飛ぶ船があり、川が天に向かって流れることもあります）
- 現実の世界（覚醒の世界）より原理がシンプル（技能ロールで出目の僅かの差で失敗したとき、成功にしてもよいとされています）
- 原作『銀の鍵の門を抜けて』によれば、幻影こそが実体にして現実（そのため現実世界より幻夢境の影響力が強く、幻夢境の変化が現実世界に反映されると解釈できます）

プレイヤーには、ただの幻想ではなく“確かに存在する世界”として伝えていただきたいです。

2. キーパーが演出する際のポイント

描写のトーン

基本的にはシナリオで描写を用意しているので、読み上げるだけで問題ありません。

アドリブで行う描写では、“詩的な言葉”や“情景を色彩豊かに表現する”ことを意識すると幻夢境らしい雰囲気が出ます。

繁栄している場所は色彩豊かで、北部のような荒廃した場所は灰色の描写が多く用いられます。

とはいえ、やりすぎると助長になってしまいますので、ほどほどの加減にしてみてください。

幻夢境の住人の話し方

幻夢境の住人は、小説の登場人物のような話し方をする傾向があります。

- 詩的な口調（「夜風が囁いていたのです」）
- 時間や概念の捉え方が曖昧

- 感情表現がストレート

キャラクターごとに特徴をつけると、世界観がより深まります。

プレイヤーへの導入

シナリオ本文に攻略のコツと、別途『幻夢境（ドリームランド）初心者ガイド』を同梱しています。プレイヤーに共有して、スムーズな導入を図っててください。

「この世界は現実の理屈では測れない」と思ってもらい、自由な発想を促してください。

とくにNPCとの会話では「正しい答え」よりも「プレイヤーの選択や解釈」が重要になるため、プレイヤーの発想を尊重し、肯定的に受け取ってってください。

情報整理

幻夢境独自の用語や情報が多く、キーパーにもプレイヤーにも負担をおかけするかと思います。

情報をまとめるためのツールを多く用意していますので、定期的に情報整理の時間を設けてみてください。

プレイヤーの目的を明確にし、プレイヤーが把握できていない点が分かれば、進行がスムーズになります。

3. 難易度調整

幻夢境の生物や現象はSAN値減少が大きく、神話生物も総じてステータスが高いです。シナリオ全体の難易度が高く、探索者がロストしやすい作りになっています。

- 幻夢境の中では技能を失敗しても大目に見てもよいとされます（幻夢境P.18）。2、3ポイント差でロールが失敗したとき、成功にしても構いません。
- 〈夢の知識〉ロールで失敗したとき、情報の半分を渡すことも可能です。
- 探索者がロストしてしまった際、プレイヤーと相談してリトライすることも検討してみてください。

まとめ

- ✓ 詩的な描写や色彩の変化で幻夢境の雰囲気 연출する
- ✓ 演出は想像できるかぎり自由に
- ✓ 幻夢境の住人は小説の登場人物のような雰囲気に
- ✓ プレイヤーに自由な発想を促し、肯定する
- ✓ 定期的に情報整理する
- ✓ セッションに合わせて難易度調整を

もっと詳しく知りたい場合は、サプリー『ラヴクラフトの幻夢境』や原作の幻夢境シリーズをご参照ください。

本シナリオでのセッションが楽しい時間になりますように。